

National
ハウジングスタジオ辛島
 白岳町1509-25
 TEL **31-4853**
 FAX **33-1920**
<http://www.karasima.jp>

〒857-0854佐世保市福石町15の4
 ☎ **0956-31-0168**
 ☎ **0956-31-0321**
www.lifesasebo.com/ mail: info@lifesasebo.com
2010・7・23 (FRI) NO.1575

させぼ

 「購入申込書」にご記入の上、商品券販売所にご持参ください。
 [お問い合わせ先] 佐世保市商店街連合会・させぼ振興券事務所
 佐世保市松浦町4番13号TADAビル1F ☎0956-23-1515
 [させぼ振興券]に関する情報はホームページで
<http://www.shinkoken.com/>

- 2010 佐世保近郊 夏花火カレンダー**
※時間は打ち上げ花火スタート予定時刻です。
- **宇久龍神祭(ひよびよ祭)**
 7月28日(水)午後9時～
 場所:神浦港(宇久町) 花火:300発
 ☎0959-57-3935(宇久町観光協会)
 - **させぼシーサイドフェスティバル**
 8月7日(土)午後8時～
 場所:佐世保駅みなと口広場
 花火:3,000発
 ☎42-4151(同実行委員会)
 - **吉井夏まつり**
 8月8日(日)午後8時50分～
 場所:吉井地区生涯学習センター横広場
 花火:100～200発
 ☎64-2139(吉井町観光協会)
 - **しかまち観光夏まつり**
 8月13日(金)午後9時～
 場所:鹿町行政センター前広場
 花火:800発
 ☎77-4111(鹿町の海と山交流会)
 - **こさざ夏まつり**
 8月14日(土)午後8時30分～
 場所:小佐々中央運動広場
 花火:800発
 ☎69-2562(市北部商工会小佐々支所)
 - **せちばる高原夏まつり**
 8月14日(土)午後8時45分～
 場所:山口神社境内
 花火:100発
 ☎76-2130(市北部商工会世知原支所)
 - **宇久納涼花火大会**
 8月14日(土)午後9時～
 場所:盛州公園 花火:350発
 ☎0959-57-3935(宇久町観光協会)
 - **江迎町千灯籠祭り**
 8月23日(月)、24日(火)各午後9時～
 場所:江迎川周辺 花火:各1,000発
 ☎080-3341-1865(同実行委員会)
 - **第2回世界花火師競技会**
 8月14日(土)、21日(土)、
 9月4日(土)、11日(土)、18日(土)
 各午後8時半～
 場所:ハウステンボスフリーゾーン
※花火観覧エリア入場チケット500円が必要
 ☎27-0001(同総合案内センター)

九州から東北まで年間約30ヶ所で一瞬を刻む久保田ワールド
 7年前に訪れた新潟の長岡まつりがきっかけで、花火写真にのめり込んだ久保田さん。以来、九州から東北まで各地の花火大会に足を運んでいます。作品は市民展や県展、各地の花火大会フォトコンテストなどに応募し、3年前には市民展で市長賞を受賞。昨年は「八代全国花火競技大会(熊本)」で最優秀賞、「常総きぬ川花火大会(茨城)」で県知事賞に輝きました。「花火大会は1年を通していろいろな場所で開催されています。最近ではコンピュター制御で音楽に合わせたショータイプのものが増えてきましたね」。臨場感と感動を伝える作品を追い求める久保田さんは、この夏も各地に出向いてシャッターを刻んでいます。



いよいよ夏本番！花火の本格シーズンがやってきました。そこで、日本各地に赴いて一瞬で消えてしまう夜空のアートを写真に収めている地元カメラマンに花火イベントの楽しさや魅力を教えてもらいました。

させぼシーサイドフェスティバル 2009年8月

真下で観るか？高台で観るか？
 基本的には打ち上げ会場風上に陣取ります。また、港が山に囲まれた佐世保は高台からのロケーションもよく、夜景を活かしたい時はお気に入りの天台山でカメラを構えます。

「デジタルであれば三脚の使用がオススメです。夜景モード『花火モード』などを活用するのは大きな輪が開いた後にのんびりでも一番大切な瞬間は花火を好きになること。千輪菊がそうです。」

クライマックスが一番盛り上がる花火大会。その終わりを告げる、音だけの花火「終了雷(しゅうりょうらい)」は全国共通のものだそうです。基本的にも大切ですね。

佐世保最大の花火大会といえ、3000発が打ち上がるシーサイドフェスティバル。今年のもっとも輝くのは全国的にも少ない田さんの作品です。8月7日(土)に迫った同大会の

見どころを尋ねると、やはり、2尺玉ですね。空中で約600mも広がる大花火で、3発も上がるのは全国的にも少ないです。

また、佐世保港の真ん中で、複数のポイントから打ち上げられるパリエーションの豊かさも同フェスティバルの魅力。水中花火など港町らしいロケーションを活かした花火ショーが展開します。

直径60cmの2尺玉のお値段は6万円以上が相場。最高に贅沢な一瞬を演出してくれる高価な大花火なのです。

させぼの花火カメラマンが教えてくれた!!
基礎知識 花火大会をもっと楽しむためのクライマックスは映画のラストと同じ
写メやデジカメで感動を残すには？
真下で観るか？高台で観るか？

久保田正史さん
 佐世保市生まれ、34歳。中フカ時代(父の一眼カメラで風景や鉄道撮影)からメラに熱中。佐世保高専時代は写真部に所属。7年前からは全国各地の花火大会に足を運び、作品を撮り続けている。
<http://sanbuhp.infoseek.co.jp>